

インハウス土木地質技術者による技術会議を開催

地質チーム、防災地質チーム

近年では、国土交通省の各組織のインハウス地質技術者が減少し地質技術者・土木技術者ともに技術力の低下や現場での地質リスクの見逃し事例が発生することが懸念されています。そこで、これに対応するため組織間連携により技術施策の提案や技術研鑽等を進め、国土交通省関連の技術行政に関わるインハウス土木地質技術者が地質リスク等の課題に対して情報共有・対策検討・技術研鑽等を行うことを目的として、「地質技術者会議」を平成30年8月23日に北海道開発局の忠別ダム管理支所で開催しました。

今回の会議は2回目の開催で、土木研究所（つくば中央研究所、寒地土木研究所）及び水資源機構の地質技術者13名が参加しました。

会議では、地質リスクマネジメント、西日本豪雨の災害の調査速報、自然由来重金属マニュアルの改訂等の最近の動向や、ダムの基礎処理や貯水池地すべり等の技術的課題について話題提供があり、活発な意見交換がなされました。

今後も会議を年1回程度実施し、現場事例の検討や連携により技術研鑽や中長期的な技術課題の解決を図っていく予定です。

【日時】平成30年8月23日

【場所】北海道開発局旭川開発建設部忠別ダム管理支所（北海道上川郡東川町）



写真-2 ボーリングコア観察状況



写真-3 会議参加者の顔ぶれ



写真-1 伊東地質研究監による開催挨拶



写真-4 会議の様子